



1班 (P2~13)



2班 (P14~20)



3班 (P21~32)



4班 (P33~45)



5班 (P46~54)

学校防災ボランティア事業 成果報告会

令和5年9月10日

**令和5年度
学校防災ボランティア事業
成果報告**

班メンバー

班長	高田高校	勝田	喬久
副班長	久居高校	岩本	美優
班員	桑名北高校	古橋	拓実
	名張高校	亀岡	晴人
	四日市南高校	渡辺	夏菜

発表テーマ①

被災した地域の
学生たちとの交流

発表テーマ②

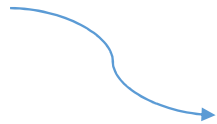
私たちに今できること

～大川小学校でのお話を聞いて～

テーマ①

1 班

- 各班でのテーマ別の話し合いの様子



各班の意見を発表

- ・各班の取り組みについての発表の様子



テーマ② 大川小学校







私たちが今できること

- 家族と避難経路を確認しておく
- 学校の避難訓練の在り方を見直す
- 避難する時に持っていくもの（水や避難食）準備しておく
- 過去に起きた被害を知ること（なぜそうなったのかの経緯も）

大切なこと

- ☆ 「自分は大丈夫」という先入観を持たない。
- ☆ いつでも最悪な場合を考える。
- ☆ どれだけ防災・災害について本気になれるか。

伝えたいこと

- ・いつ被災するかわからないので、被災する前に「自分たちが避難する避難所の確認」、「食料や懐中電灯などの確認」、「緊急時の連絡先を家族で共有する」ことをしておく。

私たちの決意表明

- 勝田 : 率先避難者になる
- 岩本 : 自分の身近な人を守るために
- 古橋 : 徹底して自助、共助、協働に取り組む
- 亀岡 : 地域で被災時に役に立てるように
- 渡辺 : 災害時に少しでも多くの人役に立てるようになる

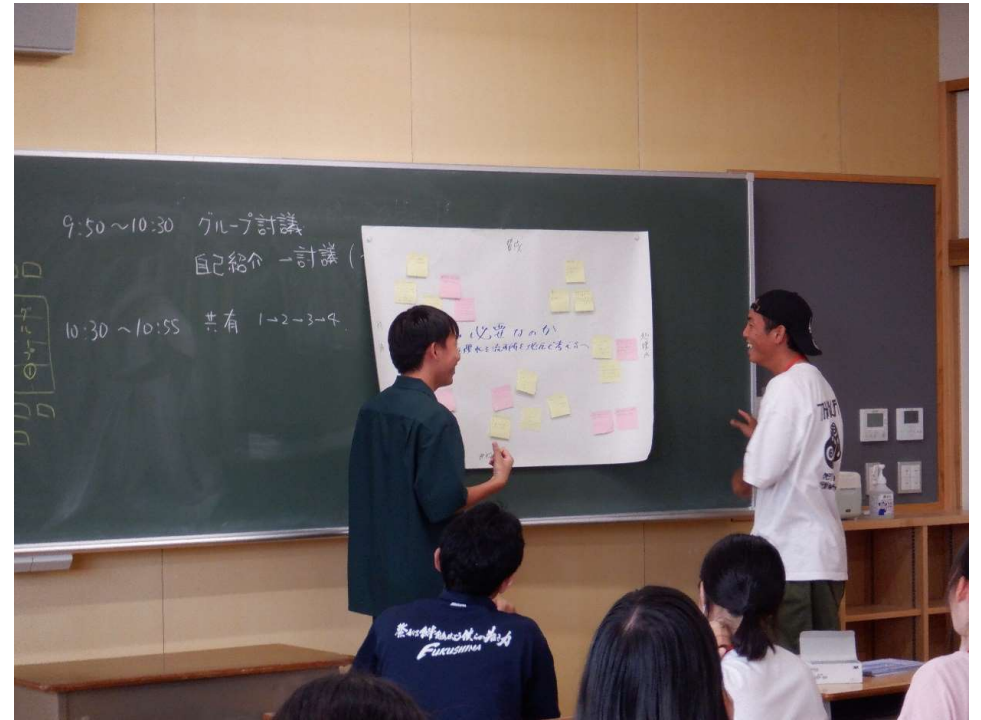
2班

対話の重要性

班メンバー

- リーダー 坂 史香 セントヨゼフ女子学園
- サブリーダー 望月 妃菜 四日市西高校
- メンバー 豊田 真羽 高田高校
- 伊藤 隆翔 久居高校
- 白須賀 悠希 昴学園高校

ふたば未来学園高校



大川小学校



川の氾濫で倒れた渡り廊下

2班





コミュニティーボール

私たちの決意表明

- 史香：災害時に対応できる看護師になる
- 妃菜：人との繋がりを大切にできる人になる
- 隆翔：率先して動ける自衛官になる
- 悠希：山崩れが起きない山を造れる林業をする
- 真羽：常に冷静に対処できる人になる

令和5年度 学校防災ボランティア事業 成果報告

班メンバー

班長	宇治山田商業高校	濱田暁弥
副班長	久居高校	岸井謙汰郎
班員	名張高校	今岡龍巨
	セントヨゼフ高校	鈴木珠生
	昴学園高校	山中百合花

発表テーマ

現地で学んだことを今後に活かす

津波の規模

3班

8.6m





原因と感想

3班

2023/08/09

どうするべきだったか

- 先生、生徒という立場関係なく意見を言い合える場を設けるべきだった。
- あらゆる状況に対応できるように避難場所や避難経路についてしっかり話し合っておくべきだった。
- 普段からあらゆる状況を想定して避難訓練等の活動をしておくべきだった。

この経験から活かせること

- 普段の学校活動で先生と生徒全体で避難場所となぜそこに逃げるかを話し合い、理解する場を設けることで、もし災害があったときすぐ行動できる力を身につけることが大切。

発表テーマ

津波と原発の被害の違いを考えよう

津波と原発

3班



考えた意見



感想

- 現地の高校生と話し合うことで、三重県にいたら考えないことを具体的に考えることができた。
- 特に原発と津波の違いなどを深く考え合うことができた。また、活動を通して津波だけでなく、原発の怖さがより分かった。

4班

令和5年度 学校防災ボランティア事業 成果報告

学園中学校・高等

4班メンバー

班 長	久居高校	中西真祈
副班長	津工業高校	内田悠成
班 員	昂学園高校	笹木修吾
	暁高校	角田栞理
	宇治山田商業高校	裏地花

発表テーマ

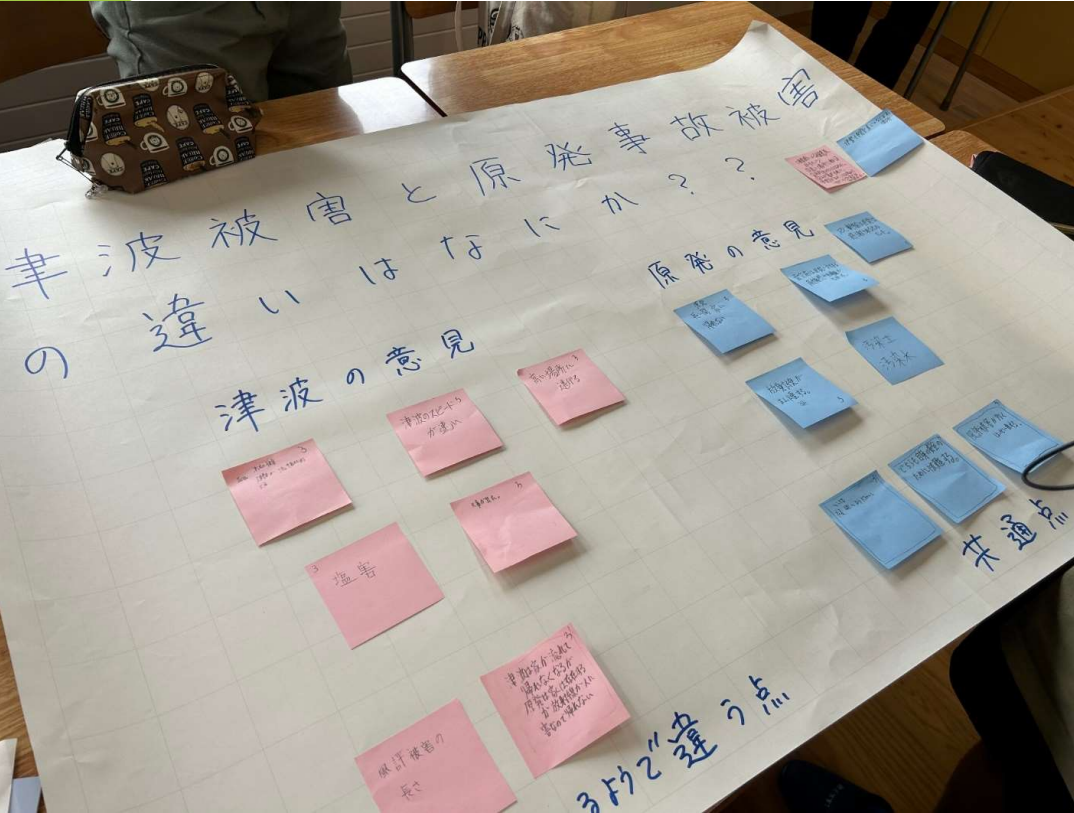
**自分たちで吸収して
自分と周りの人の将来に生かす**

ふたば未来学園高校生徒との交流

- グループ討議テーマ案
- ① 災害発生前に 取り組むべきこと
 - ② = 後に
 - ③ 津波被害と 原発事故被害の違いはなにが?
 - ④ 風評被害 払拭のために 取り組むべきこと
 - ⑤ 対話は なぜ 必要なのか?



←発表資料



発表の様子→



震災遺構 大川小学校への訪問

大川伝承の会 語り部 佐藤さん



大川小の校歌のタイトル



4班

←ここに逃げれば助かった
かもしれない高台



川の逆流で倒れた
渡り廊下→



あおい地区の方々との交流

4班

足浴とマッサージ



↑ 被災体験を聞かせていただきました。

4班

←役員の方々と昼食



ごちそうさまの挨拶→



集会所でのさまざまな講話

4班

あおい地区のまちづくりについて
(小野竹一会長)

避難所について(齋藤幸男先生)



考えたこと・提案したいこと・伝えたいこと

被災地は元々被災地ではなく普通のまちだったと言うことに気づかされた

**防災＝怖い ではなくて、
ハッピーエンドの防災を考えるようにする**

正解ではなく、成解を求めること

4班の決意表明

避難訓練のときから地震や津波が来た想定で本気で取り組む

仮設住宅などでも一人一人が笑顔を守って楽しく過ごせるようなルールを守る

災害が起こった時にどのように対応するか、常日頃から考えるようにする

防災の大切さを多くの人に伝え、災害が起きた際に役に立つような知識をこれからも学び続ける

4班

ご清聴ありがとうございました

令和5年度 学校防災ボランティア事業 成果報告

5班 メンバー

班長	セントヨゼフ女子学園高校	名前	宮口	真緒
副班長	昂学園高校	名前	橋本	和磨
班員	高田高校	名前	田中	大翔
	久居高校	名前	吉浦	脩太
	四日市高校	名前	小川	紗葉

発表テーマ

大川小学校で学んだことと感じたこと
について

震災遺構 大川小学校

5班

2023/08/09



5班

ここは学校でした。
運動会をしていると
きの様子

2023/08/09

5班



大川小学校の出来事において教員は何をすべきだったのかを班の中で考えてみました。

- 避難経路を明確にマニュアル化しておくべきだった。
- 津波が来るということが分かった場合すぐに高いところに避難すべきだった。

私たちの決意表明

5班

宮口真緒：積極的に防災活動を今後も続けていく

橋本和磨：学校の避難訓練をもっと多くする

田中大翔：今回学んだ防災の知識を周りに伝え、自らが率先避難者になる。

吉浦脩太：災害が起きた時、ボランティア活動の経験をいかし、いち早く行動する。

小川紗葉：今回学んだことを身の周りの人に伝えていく